

○ ワークショップ「都市のOR」

開催責任者 数理情報学部 鈴木敦夫

2007年12月22、23日

南山大学サテライトキャンパス

ワークショップは2日間にわたり、「都市の持続可能な繁栄のためのインフラストラクチャーの最適運用計画の策定と普及」のテーマのもと、参加者80名、以下のプログラムで開催された。

12月22日(土)

13:00-13:10 Opening Session

Masanori Fushimi (Nanzan University)

13:10-14:10 Session 1 Chair: Atsuo Suzuki (Nanzan University)

Location of a Facility Minimizing Nuisance to or from a Planar Network

Tammy Drezner and Zvi Drezner (California State University, Fullerton)

14:30-15:50 Session 2 座長: 諸星穂積 ()

季節前線近接性の時空表示

大澤義明 (筑波大学)

道路閉鎖の不確実性を考慮した復旧優先度

渡辺泰弘 (筑波大学大学院)

商品の普及過程に関する微分方程式モデル

北川真仁 (慶応義塾大学)

複数料金クラスにおける補充付き座席管理について

佐藤公俊 (南山大学大学院)

16:10-17:00 Session 3 Chair: Katsushige Sawaki (Nanzan University)

Key Results of the 2007 ATRS Global Airport Benchmarking Report

Tae Oum (Nanzan University, University of British Columbia)

The Gateway Airport Location Problem

Mihiro Sasaki (Nanzan University)

17:10-18:00 Session 4 Chair: Toshiharu Hasegawa ()

Designing Robust Wireless Sensor Networks for Urban Development

Winston Khoo Guan SEAH (Insutitute of Infocomm Reserch)

On the selection of cluster heads in wireless sensor networks

Atsuo Suzuki (Nanzan University)

12月23日(日)

9:00-10:30 Session 5 Chair: Mihiro Sasaki (Nanzan University)

Territory Design: Applications and Algorithms

Joerg Kalcsics (Universitat des Saarlands)

Quadratic Order Median Location Problems

Kazuki Tamura (Railway Technical Research Institute)

A time-dependent maximal flow-covering location problem on a continuous plane and a network space

Ken-ichi Tanaka (Tokyo University of Science)

A New Calculation Method for Estimation of Trip Chaining Behavior

Yudai Honma (Keio University)

10:50-12:10 Session 6 座長: 大澤義明 (筑波大学)

貨物輸送コストの変化が単一ハブ空港立地に与える影響 渡部大輔 (東京海洋大学)

鉄道との競合を考慮した航空路線再分配モデル 上嶋悠紀代 (南山大学)

耐震補強工事に関する助成額の検討 廣井悠 (東京大学)

鉄道路線を対象とした略地図の高速描画 傳保能幸 (中央大学大学院)

13:10-14:30 Session 7 座長: 鈴木勉 (筑波大学)

都市内道路除雪における巡回所要時間の推定方法 出水田智子 (会津大学)

瀬戸市における資源ごみ回収ルート最適化 武田好史 (南山大学)

コーホート要因法による人口推定結果の安定性に関する研究 小野田 竜巳 (筑波大学)

国民体育大会の順位と人口規模に関する研究 松丸仁 (筑波大学)

14:50-16:00 Session 8 座長: 栗田治 (慶応義塾大学)

混雑に強い電車ダイヤグラムを考えるー東京首都圏電車通勤交通モデルー

田口東 (中央大学)

宝くじは投資対象となるか?ーTOTO BIG 考察ー 須崎政文 (南山大学大学院)

mixi 利用者の拡大からみた流行浸透度の地域差 渋谷真弓 (筑波大学大学院)

16:00-16:10 Closing Session

Takeshi Koshizuka (University of Tsukuba)

◇ワークショップの討論内容

ワークショップでは以下のテーマについて発表者、参加者で討論を行いました。

配置問題の理論モデル (セッション1, 5)

空港の最適運用（セッション3）

ワイアレスセンサーネットワークに関する最近の話題（セッション4）

都市に関する最適化問題（セッション2，6，7，8）

セッション1，3，4，5は英語で発表と討論を行いました。

- ・ 配置問題の理論モデル

迷惑施設の配置問題，ネットワーク上のドミナントな配置問題，領域分割問題，劇場型配置問題などについて理論面，実用面から討論しました。

- ・ 空港の最適運用

空港のベンチマーク評価，ゲートウェイ空港について発表者から最新の成果について情報が提供され，それについて討論しました。

- ・ ワイヤレスセンサーネットワークに関する最近の話題

センサーネットワークの実用に関する話題と，最適運用の理論的な話題について討論しました。

- ・ 都市に関する最適化問題

東急東横線のラッシュ時における急行電車の廃止などについて，発表者から最新の情報が提供され，その成果について討論を行いました。

◇研究成果発表

各自の研究成果は個々に適切な論文誌に発表することにしました。